

矢板市財政状況

令和7年3月31日現在					
人	口	29,876	人		
世	帯	数	13,334	世帯	
面	積	170.46	km ²		
市	有	土	地	4,156,969	m ²
市	有	建	物	145,132	m ²

ま え が き

矢板市では、景気の持ち直しなどにより市税収入が増加しているものの、老朽化した公共施設への対応、少子高齢化に伴う福祉関連経費の増加などにより依然として厳しい財政運営を強いられています。

令和6年度予算は、各種施策について一層の選択と集中を図るとともに、徹底した歳入歳出の見直しなどを行った上、「Yaita こどもまんなかプロジェクト」の取組や「DX・GXの推進」など未来志向のまちづくりに寄与する重点事業に対して十分に予算配分を行いました。

本市の総合計画「やいた創生未来プラン」に掲げる施策や予算における主要事業等を着実に推進し、持続可能な財政運営をしていくためには、市民の皆様の市政に対するご理解とご協力が必要です。市政運営の根幹である「市の財政状況」について、一人でも多くの方々に知っていただきたく、ここに令和6年度予算の執行状況等（令和7年3月末現在）についてお知らせします。

1. 矢板市の財政状況の概要 （令和7年3月31日現在）

令和7年3月31日現在における予算の執行状況は、「2. 令和6年度歳入歳出予算の執行状況」のとおりです。一般会計の収入済額は約145億円です。そのうち市税収入が約44億円となっています。国庫支出金収入の総額は約25億円です。市債の執行率が低い理由は、各種事業完了後に額が確定し、次年度へ繰り越して収入となるものがあるためです。一方、支出済額は約126億円です。そのうち、民生費が約47億円で、全体の約37%を占めています。介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療、ハッピーハイランド矢板排水処理事業の4つの特別会計全体の収入済額は約68億円、支出済額は約66億円です。介護保険、国民健康保険などの医療系の事業が大きな割合を占めています。一般会計及び特別会計の合算では、収入済額は約213億円、支出済額は約192億円となっています。

地方公営企業の状況は、「3. 令和6年度地方公営企業の経理の状況」のとおりです。水道事業においては、事業収益約9億円に対し当期純利益は約1億円、下水道事業においては、事業収益約7億円に対し当期純利益は約2億円となり、いずれの事業も概ね堅調な経営状況にあるといえます。

市債及び基金の状況は、「4. 市債、一時借入金及び基金の状況」のとおりです。一般会計の市債残高は約117億円です。そのうち臨時財政対策債が約49億円で、全体の約42%を占めています。地方公営企業の市債残高は約45億円で、市全体では約162億円となります。

一般会計の基金残高は約42億円で、特別会計を含めた市全体では約56億円です。そのうち財政調整基金は、施策の選択と集中を図るとともに、補助金活用等による財源確保の取組を強化したことにより、令和6年度も取り崩すことなく、過去最高の約17億円を維持しています。

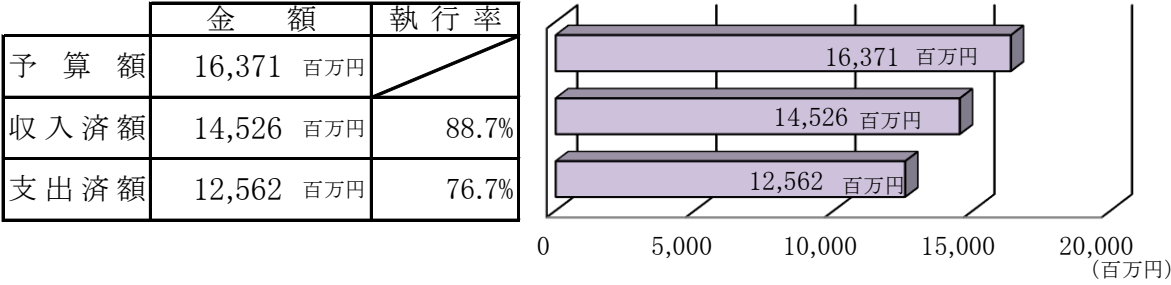
住民負担の状況は、「5. 住民の負担等の状況」のとおりです。景気の持ち直し等により市税等が増加したものの、少子高齢化に伴う民生費等の高止まりを要因として住民一人当たりの負担は、依然として増加傾向にあります。特に市債残高については、市体育館や文化会館の解体等大型建設事業の完了に伴い、今後も増加が見込まれることから、将来への過度な負担の先送りとならないように、事業の緊急性や必要性などの優先順位を見極め、今後も引き続き計画的な残高管理を行っていきます。

以上が、令和7年3月31日現在における令和6年度予算の執行状況の概要となります。「やいた創生未来プラン」に掲げる施策や令和7年度予算に掲げる重点事業を着実に推進するため、引き続き必要な財源の確保に努め、財源の重点的・効率的な配分に徹し、健全な行財政運営に努めてまいります。

2. 令和6年度歳入歳出予算の執行状況 (令和7年3月31日現在)

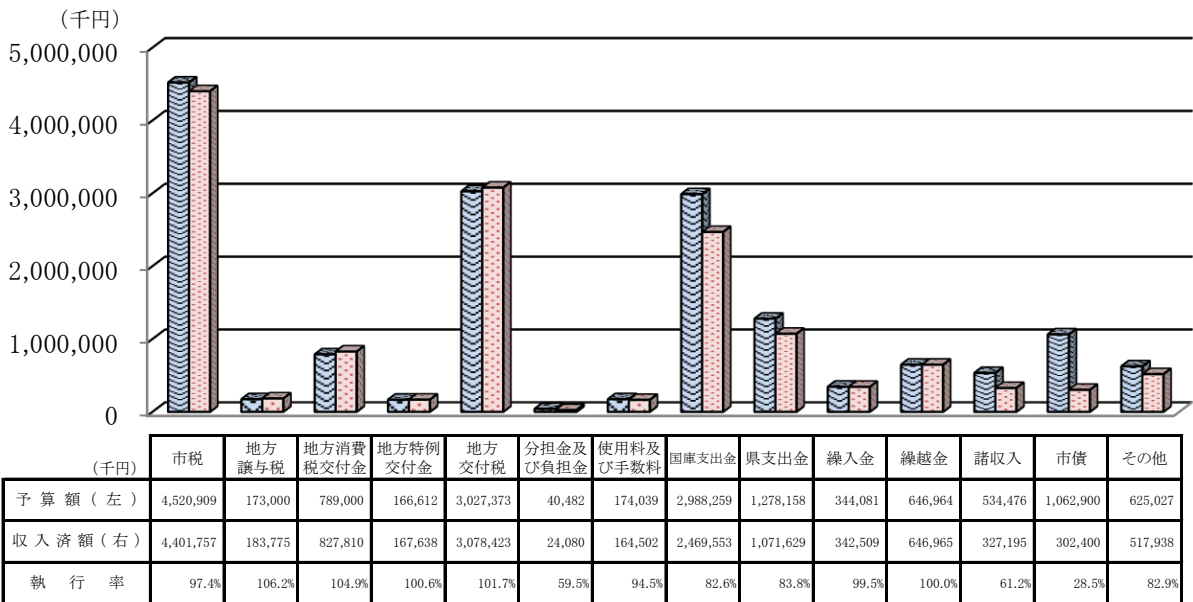
(1) 一般会計

① 歳入歳出合計

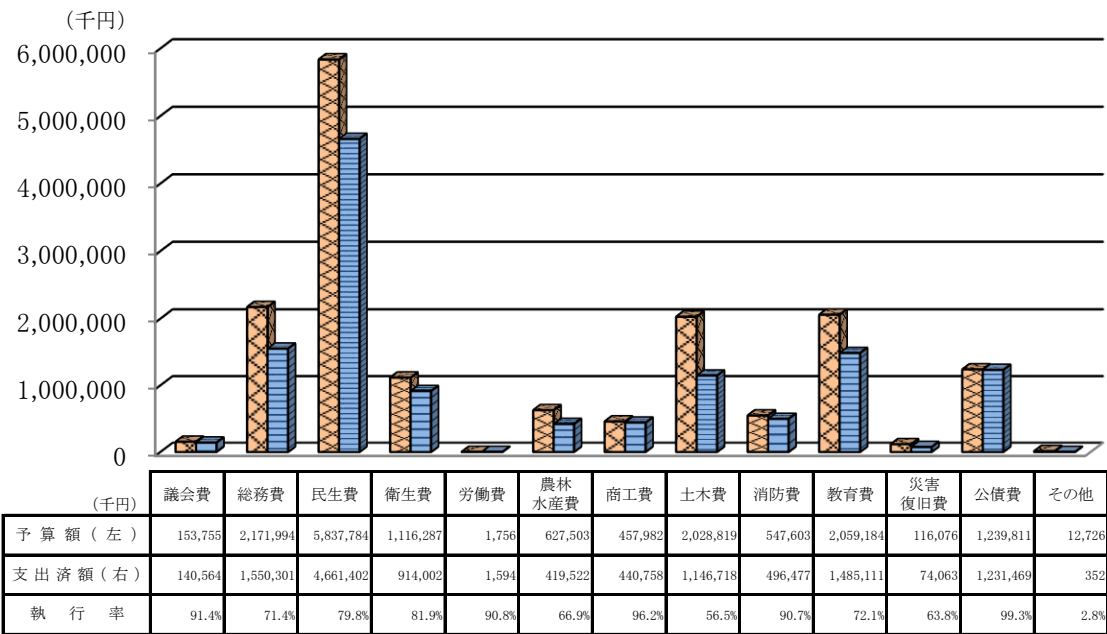


② 費目別歳入歳出

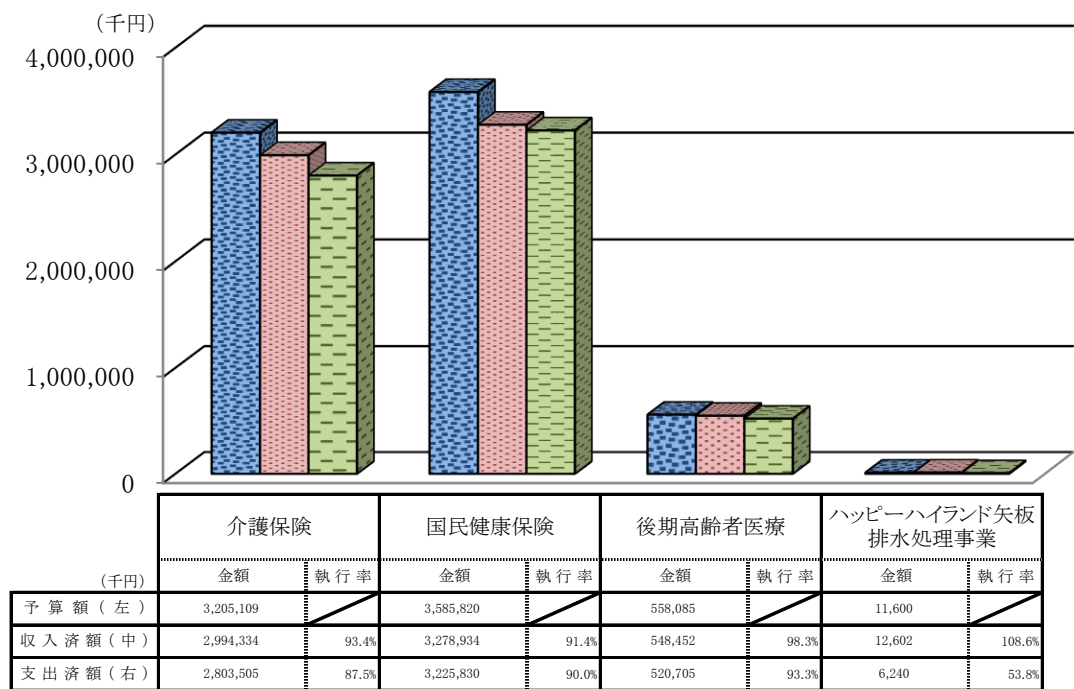
【歳入】



【歳出】



(2) 特別会計



3. 令和6年度地方公営企業の経理の状況 (令和7年3月31日現在)

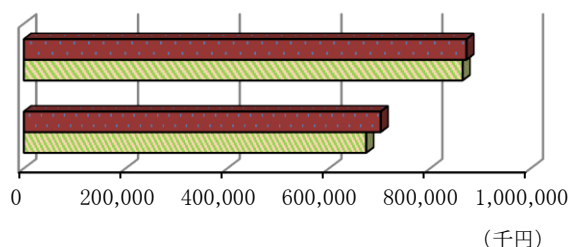
(1) 水道事業

① 水道事業の概要

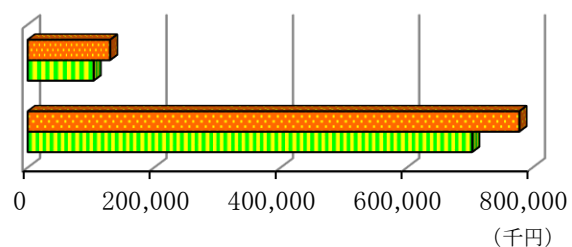
	令和6年度	(1日あたり)
配水量	4,702,255 m ³	12,883 m ³
有収水量	3,349,606 m ³	9,177 m ³
給水戸数	13,273 戸	
給水人口	29,726 人	

② 水道事業の経理の状況

		金額(千円)	執行率
収益的収支	収入予算(上)	872,086	99.1%
	収入済額(下)	864,608	
	支出予算(上)	701,700	95.9%
	支出済額(下)	673,023	



		金額(千円)	執行率
資本的収支	収入予算(上)	130,000	80.1%
	収入済額(下)	104,098	
	支出予算(上)	778,600	90.4%
	支出済額(下)	703,608	



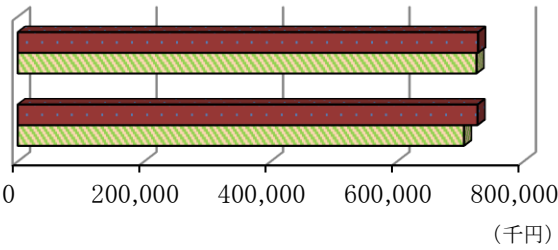
(2) 下水道事業

① 下水道事業の概要

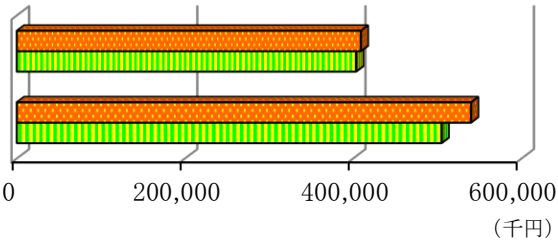
	令和6年度	(1日あたり)
処理水量	2,315,431 m ³	6,344 m ³
有収水量	1,469,723 m ³	4,027 m ³
水洗化戸数	4,928 戸	
水洗化人口	11,448 人	

② 下水道事業の経理の状況

		金額(千円)	執行率
収益的収支	収入予算(上)	727,900	
	収入済額(下)	725,411	99.7%
	支出予算(上)	726,963	
	支出済額(下)	705,500	97.0%



		金額(千円)	執行率
資本的収支	収入予算(上)	409,100	
	収入済額(下)	403,471	98.6%
	支出予算(上)	539,938	
	支出済額(下)	505,046	93.5%



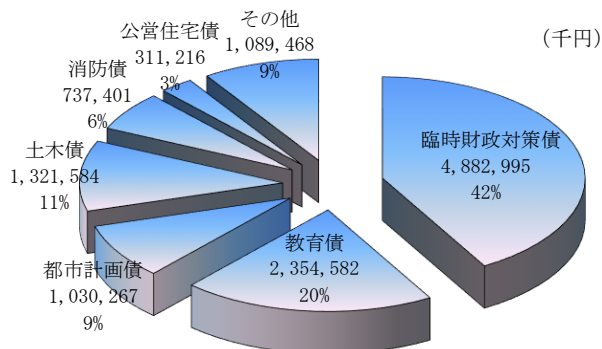
4. 市債、一時借入金及び基金の状況（令和7年3月31日現在）

(1) 市債の残高

① 一般会計

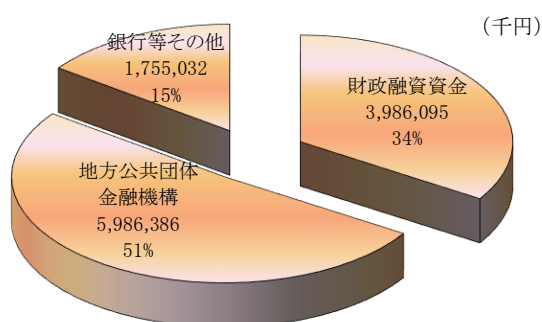
【目的別】

	(千円)
残高	
臨時財政対策債	4,882,995
教育債	2,354,582
都市計画債	1,030,267
土木債	1,321,584
消防債	737,401
公営住宅債	311,216
その他	1,089,468
合計	11,727,513



【借入先別】

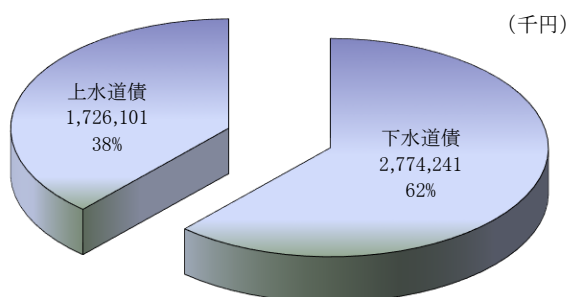
	(千円)
残高	
財政融資資金	3,986,095
地方公共団体金融機構	5,986,386
銀行等その他	1,755,032
合計	11,727,513



② 地方公営企業

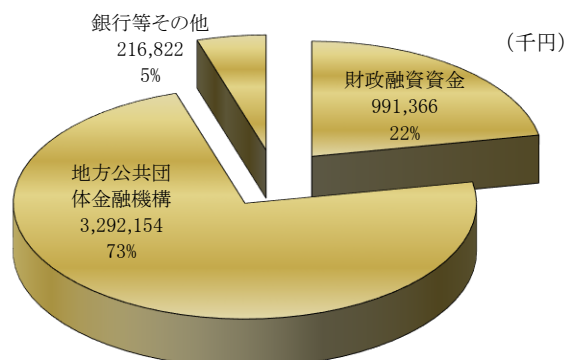
【目的別】

	(千円)
残高	
下水道債	2,774,241
上水道債	1,726,101
合計	4,500,342



【借入先別】

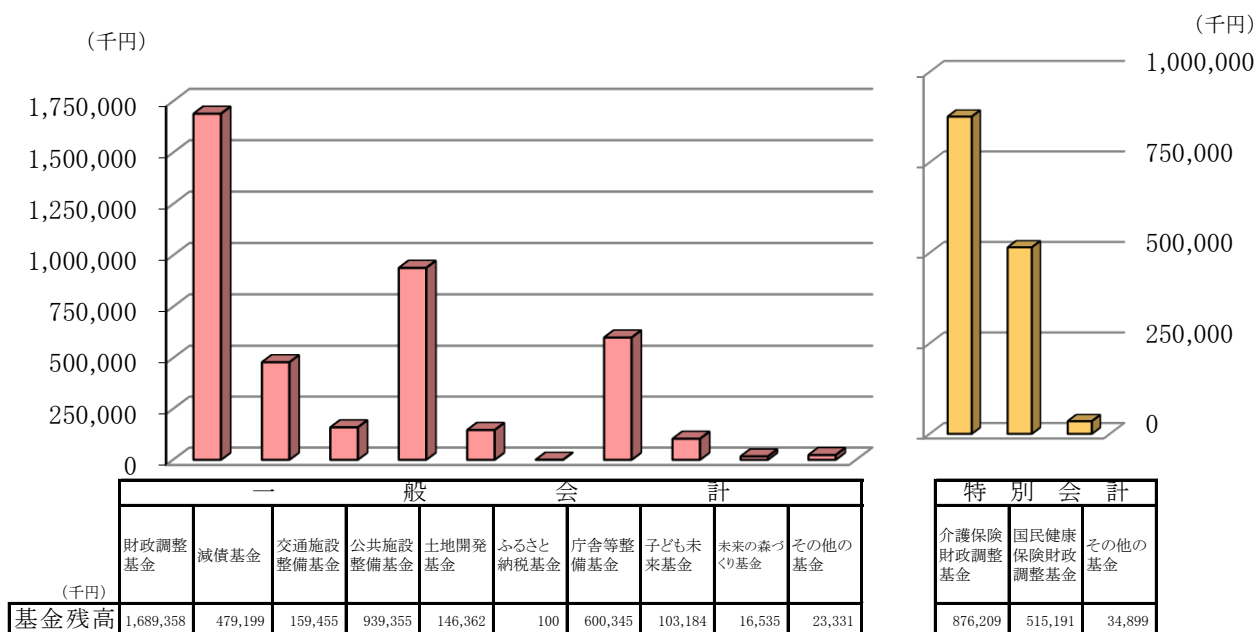
	(千円)
残高	
財政融資資金	991,366
地方公共団体金融機構	3,292,154
銀行等その他	216,822
合計	4,500,342



(2) 一時借入金の残高

一時借入金はありません。

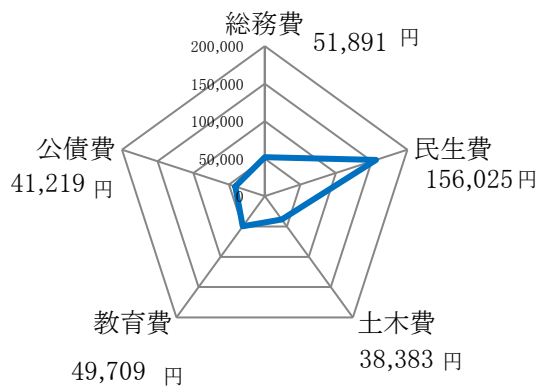
(3) 基金の残高



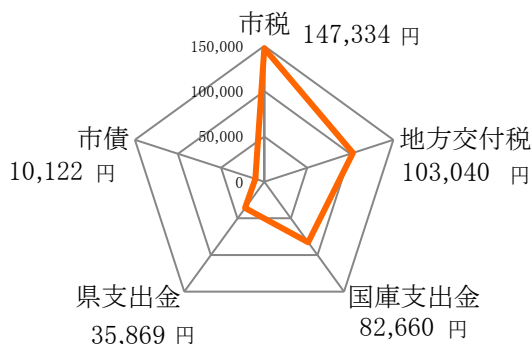
5. 住民の負担等の状況 (令和7年3月31日現在)

(1) 住民一人当たりの負担等の状況

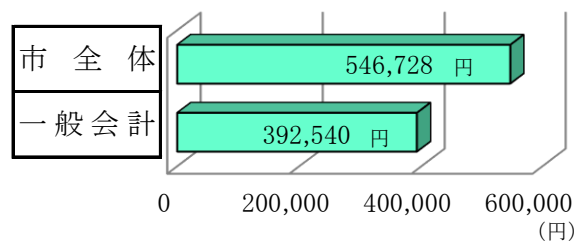
① 主な歳出費目



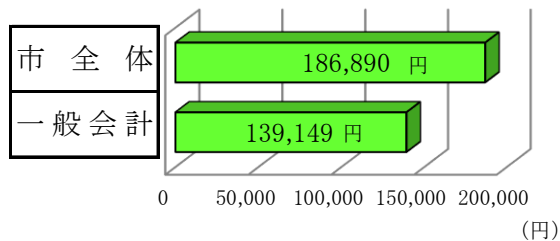
② 主な歳入費目



③ 市債残高



④ 基金残高



矢板市全体の予算は？～「3つの会計」～

今回の財政状況の公表では、令和6年度予算の執行状況についてお知らせしました。矢板市の予算は、「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」の3つから構成されています。

今回は、それぞれの特徴について解説します。

矢板市の会計（＝お財布）

（単位：百万円）

		令和6年度予算額	内訳	
総額	一般会計	26,475		
	特別会計	16,371		
特別会計	7,361		介護保険特別会計	3,205
			国民健康保険特別会計	3,586
			後期高齢者医療特別会計	558
			ハッピーハイランド矢板排水処理特別会計	12
企業会計	2,743		水道事業会計	1,480
			下水道事業会計	1,263

「会計」とは、家庭における「お財布」にあたるものです。

収入をどの事業に使っているのかをわかりやすくするために、お財布（会計）を一般会計、特別会計、企業会計の3つに分けています。

それぞれの会計の特徴は？

一般会計

福祉や教育、道路整備など市の基本的な事業を行う会計です。収入は、市税や地方交付税等によって賄われます。

特別会計

特定の事業を特定の収入によって実施するための会計です。保険料などの特定の収入があるため、一般会計とは区別する必要があります。矢板市では、介護保険特別会計や国民健康保険事業など4会計があります。

企業会計

地方公共団体が直接経営する、地方公営企業の会計です。それぞれ利用者の方が支払う料金等の収入で事業を行います。矢板市には、水道、下水道の2会計があります。

特別会計、企業会計については、法律の定めによって決められた事業のほか、市町村が条例によって設置することができるとされています。全国の市町村にはいろいろな会計（お財布）があります。「お財布からまちの特徴を知る」こともできるかもしれませんね。